

藝園と草花



新たに 北海道優良 奨励品種に決定した 雪印改良種 オーチャードグラス フロンティア

上野幌育種場 三浦 梧 楼

弊社上野幌育種場に於て極晩生のオーチャードグラス「ヘイキング」を母材として、中～晩生、再生良好、多収を目標として合成品種法により育成した採草、放牧兼用品種の「フロンティア」は、この程、全道公立農業試験場8場所に於ける3ヶ年の適品種選定試験の結果、その優良性が認められ、北海道優良品種に決定（北海道農業試験場成績会議）更に北海道奨励品種に登録（北海道種苗審議会）されましたので、この機会に特性概要と、利用上の注意を述べて参考にしていただきます。

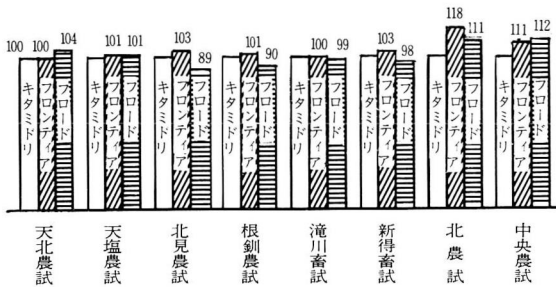
◎特性概要

(1)中生系に属し、キタミドリより約6日、フロードより約3日おそく出穂し、極晩生のヘイキングより4～5日早い。

(2)葉長、葉巾大で草丈高く直立型。従ってフロードに較べて葉部割合が多く、(蛋白多く、消化率も高い)栄養生産性が高い。

(3)草勢、再生などはキタミドリ同様にすぐれている。

道内各地に於ける牧置割合 (乾物3ヶ年合計%)



中晩生のフロンティア

フロード(右)よりも3日、在来系(キタミドリ改良在来種)よりも1週間出穂がおそく、チモシー赤クローバと刈取適期が近い。



草丈が高く、直立型で多収のフロンティア

春～秋の草勢、利用後の再生も旺盛で、多回利用にも耐えますから、採草は勿論、放牧利用にも適します。

(4)病害(茎葉枯病、雲形病)にも強く、特に最近道東 道北に発生の多い雪腐病(大粒菌核病を主因とする)にもフロードに較べて強い。

(5)道内各地で高収量を挙げ、特に雪腐病発生地域(根釧、網走等)での多収が目立っています。

◎利用上の注意

(1)採草利用の場合にチモシー、アカクローバ、オーチャードの混播が行われるケースが多いのですが、この場合オーチャードの在来系(キタミドリ、改良在来種等)は出穂が早く、硬化しやすいので、中～晩生品種が必要ですが、フロンティアはチモシー(北王)アカクローバ(ハミドリ)と混播して早刈りする場合に恰適します。

(2)放牧利用の場合、キタミドリが多収で多回利用に適していますが、まだ種子流通がありませんので、多回利用の場合、僅かに収量は低下(3%前後)しますが、草勢再生の旺盛なフロンティアが有利です。特に採草、放牧兼用の場合はフロンティアが最優良でしょう。



葉が多く(長く、幅が広い)栄養生産性の高いフロンティア